

年次報告書の見直しについて

1 自己評価の結果について

- 重点事業の自己評価の結果の平均を集計し、結果を矢印で表記する。
 ・集計方法は前回から変更しない。(矢印標記も継承する)

所属評価 (目標別・重点事業評価シート)			集 計 (評価点数=所属評価合計点÷事業数)		
目標達成	5点	↑	目標達成	4.6～5.0点	↑
改善	4点	↗	改善	3.6～4.5点	↗
横ばい	3点	→	横ばい	2.6～3.5点	→
悪化	2点	↘	悪化	1.6～2.5点	↘
未実施	1点	↓	未実施	1.0～1.5点	↓

- 自己評価に追加した「有効性」「効率性」「効率性」「独自生」に対する評価の結果は、総括表には掲載しない。

2 全体のデザイン等について

- 文字数が多く読みづらいため、全体を簡略化する。
 ・評価結果と審議会意見など、特に必要な情報のみに整理する。
 ・結果をイメージしやすいよう、画像やグラフを入れ見やすくする。
 ・重点事業評価シートを充実させ、詳細を確認できるようにする。

3 作成時期について

- 9月の文化審議会に提出する。
 ・次年度の予算要求に結果を反映させるため、まとめる時期を早める。

基本目標3 文化の継承及び発展を担う人材や団体の育成

県民の文化活動が自主的に行われ、継続し、発展していくために必要な人材や団体の育成に取り組みます。

■主な施策の取り組み状況

- 幼稚園や保育園にアマチュアの文化団体を派遣する「はじめての文化体験事業」を実施し、子ども向けの公演やワークショップ開催しました。(重点事業9)
- メディア芸術の振興と新しい才能を発掘するため、県民芸術祭に「GUNMAマンガアニメフェスタ」を追加し、第1回を開催しました。(重点事業10)
- 子どもたちが伝統文化や芸術に触れる機会を増やす活動を行っている民間の文化団体やNPO法人を対象とした、新たな補助金制度「『群馬の文化』支援事業補助金(次世代育成事業)」を立ち上げました。(重点事業11)

▶事業の様子の写真・チラシ・グラフなどを掲載



■自己評価結果

・自己評価の結果の総括は「達成度」で行う。
・数値は、重点事業の達成度の平均値。
(総括の方法は前回から変更無し)

<平成25年度>

区分	点数	結果
自己評価 (達成度)	3.7	改善 ↑ 改善
	／5点中	／前年度から

推進の状況	点数	結果
平成25年度	3.7	改善
平成26年度		
平成27年度		
平成28年度		
平成29年度		

有効性、効率性などの数値は併記しない。
表は、過年度の結果に差し替え。

■今後の課題と対策

- 文化体験事業、移動音楽教室などの事業が安定的に継続できるよう努めます。
- 新進芸術家の成果発表など、若者の活躍の場を増やします。
- 自主的、先駆的、独創的な文化活動を積極的に支援します。

【文化審議会の意見】

人材や団体の育成は長期的、計画的な支援が必要です。文化づくり支援事業やはじめての文化体験などの補助事業は、今後も継続した実施に努めてください。

また、「まんが教室」など、作品発表やコンテストと併せてワークショップを開催して参加型イベントとする試みは、とても意義があると思います。今後の発展に期待します。